

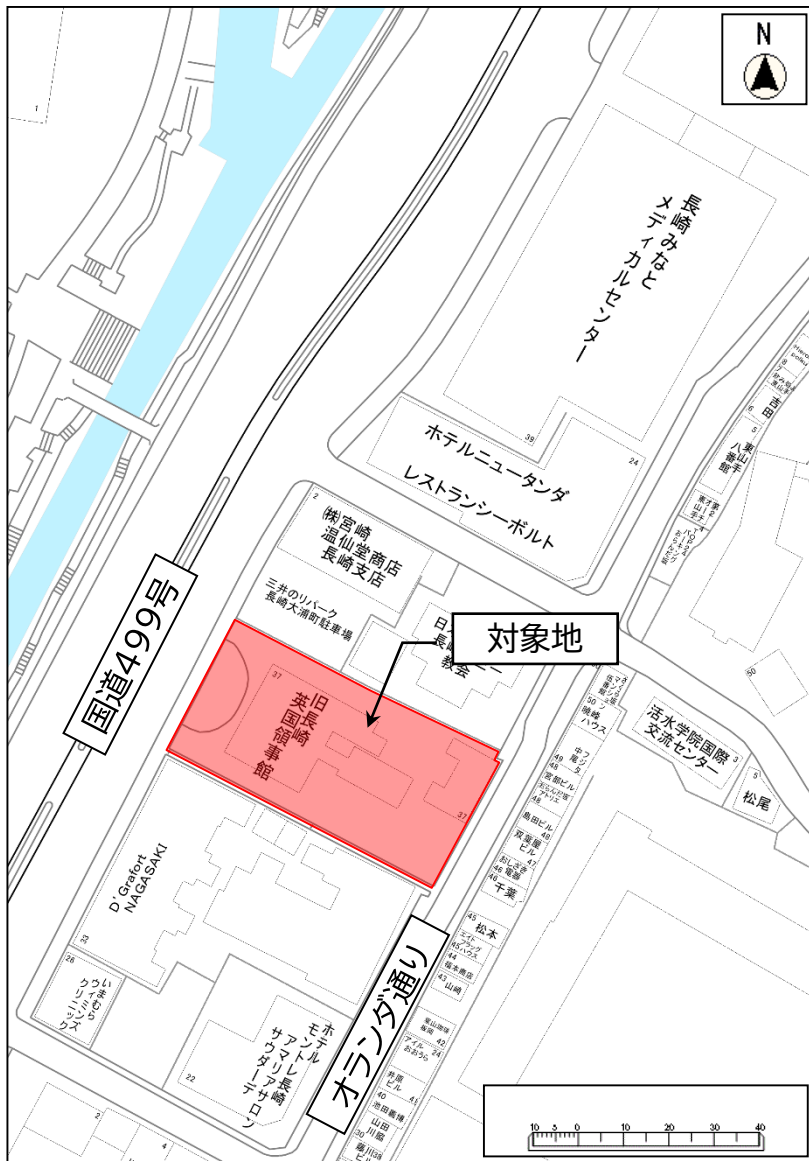
## 所 管 事 項 調 査 ②

### 文化観光部所管事項について

目 次	ページ
1 国指定重要文化財 旧長崎英国領事館保存整備事業の進捗状況報告・・・	2～8

文化観光部  
令和6年6月

# 国指定重要文化財 旧長崎英国領事館保存整備事業の進捗状況報告



## 【1. 事業概要】

明治41年の建設以来、大規模な修理等がなされておらず、地盤沈下や建物の傾斜、外壁の劣化等が進行している旧長崎英国領事館について、全体にわたる本格的な保存修理及び耐震補強工事を実施するとともに、公開活用に必要な防災施設や活用施設等の整備を行う。

### <建物>

本館	煉瓦造2階建て 棧瓦一部銅板葺 建築面積464.70㎡
附属屋	煉瓦造平屋建て 棧瓦一部鉄板葺 建築面積109.4㎡
職員住宅	煉瓦造・木造2階建て 棧瓦一部鉄板葺 建築面積219.70㎡

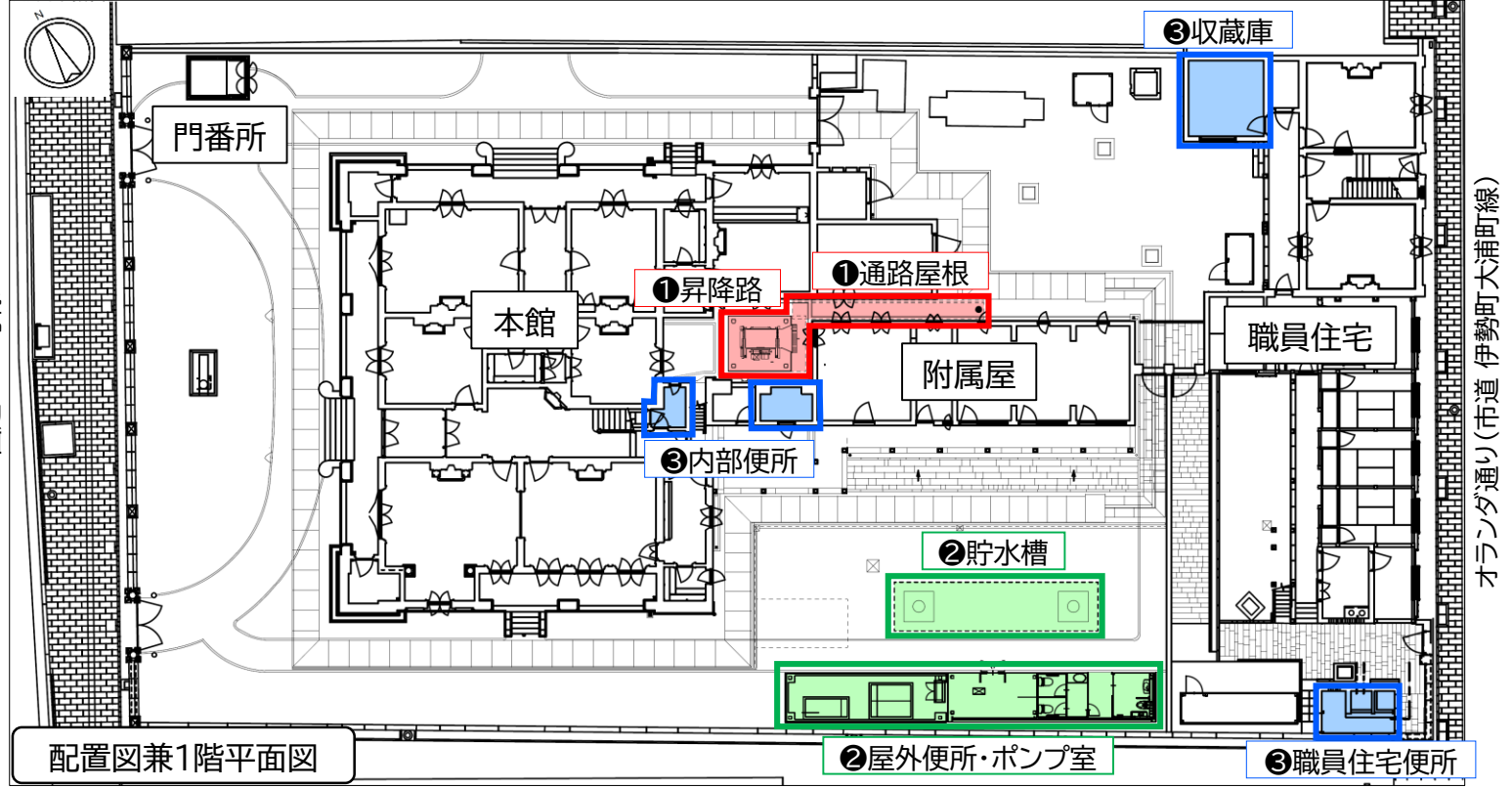
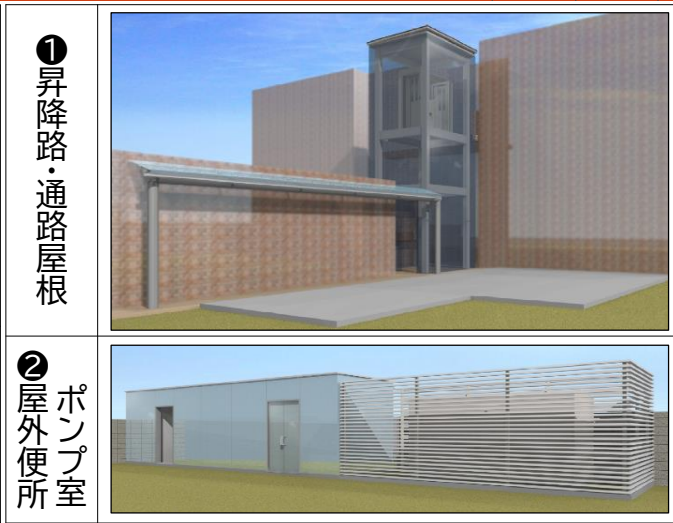
## 【2. 事業内容】

- (1)保存修理、耐震補強工事  
事業期間：平成27年度～令和7年度
- (2)防災施設整備(消火設備・防火水槽・各種センサー設置ほか)  
事業期間：令和3年度～令和6年度
- (3)活用施設整備(エレベーター・屋外便所・空調設備設置ほか)  
事業期間：令和3年度～令和6年度
- (4)展示等整備(展示設計・展示設置業務)  
事業期間：令和5年度～令和7年度

# 国指定重要文化財 旧長崎英国領事館保存整備事業の進捗状況報告

- ①昇降路ほか増築工事**  
鉄骨造 地上2階建て  
屋根:スチール溶融亜鉛メッキ  
外壁:ガラス  
通路屋根とも
- ②屋外便所新築主体ほか工事**  
鉄骨造 地上1階建て  
ポンプ室、貯水槽、フェンス設置工事含む
- ③内部便所ほか改修工事**  
保存修理後の屋内便所(1階・2階)、  
収蔵庫におけるパネル設置等の内装工事

- ④本館ほか活用防災電気工事**  
(活用)電灯設備、動力設備、受変電設備、  
機内交換機設備、拡声設備、  
呼出装置設備、火災報知設備、  
誘導支援装置設備、構内通信線路  
(防災)電灯・動力設備、監視カメラ設備、  
火災報知設備、構内配電線路、  
構内通信線路
- ⑤本館ほか活用防災管工事**  
敷地内の衛生器具設備、給水設備、  
排水設備、消火設備、空気調和設備、  
換気設備



- ⑥展示等設計整備**  
令和5年度 基本設計  
令和6年度 実施設計  
令和7年度 展示等整備

オランダ通り(市道 伊勢町大浦町線)

配置図兼1階平面図

# 国指定重要文化財 旧長崎英国領事館保存整備事業の進捗状況報告

## 【3. 保存整備事業 全体スケジュール(予定)】

年度	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
保存 修理 工事	1 期 工 事	1期工事①(H27.9.24~H30.12.28)										
	2 期 工 事	1期工事②(H30.12.19~H31.3.20)				2期工事(H31.3.15~R7.6.30)						
		設計監理委託(H27.12.22~H31.3.20)				設計監理委託(H31.3.25~R7.9.30)						
防災 活用 展示 その他				保存活用計画策定(R元.9.24~R3.3.30)								

## 【4. 旧長崎英国領事館保存修理工事 進捗率(実施・予定)】

(単位:円)

	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(予定)	令和7年度(予定)
予定出来高	1,316,355,600	1,494,237,600	1,943,348,734	2,010,812,200
実施出来高	1,335,091,680	1,506,378,600	—	—
進捗率	66.39%	74.91%	96.64%	100%

現請負金額: 2,010,812,200円  
 保存整備事業予算: 継続費 4,012,500千円



【5. 現在の状況】

全景写真(国道499号側)



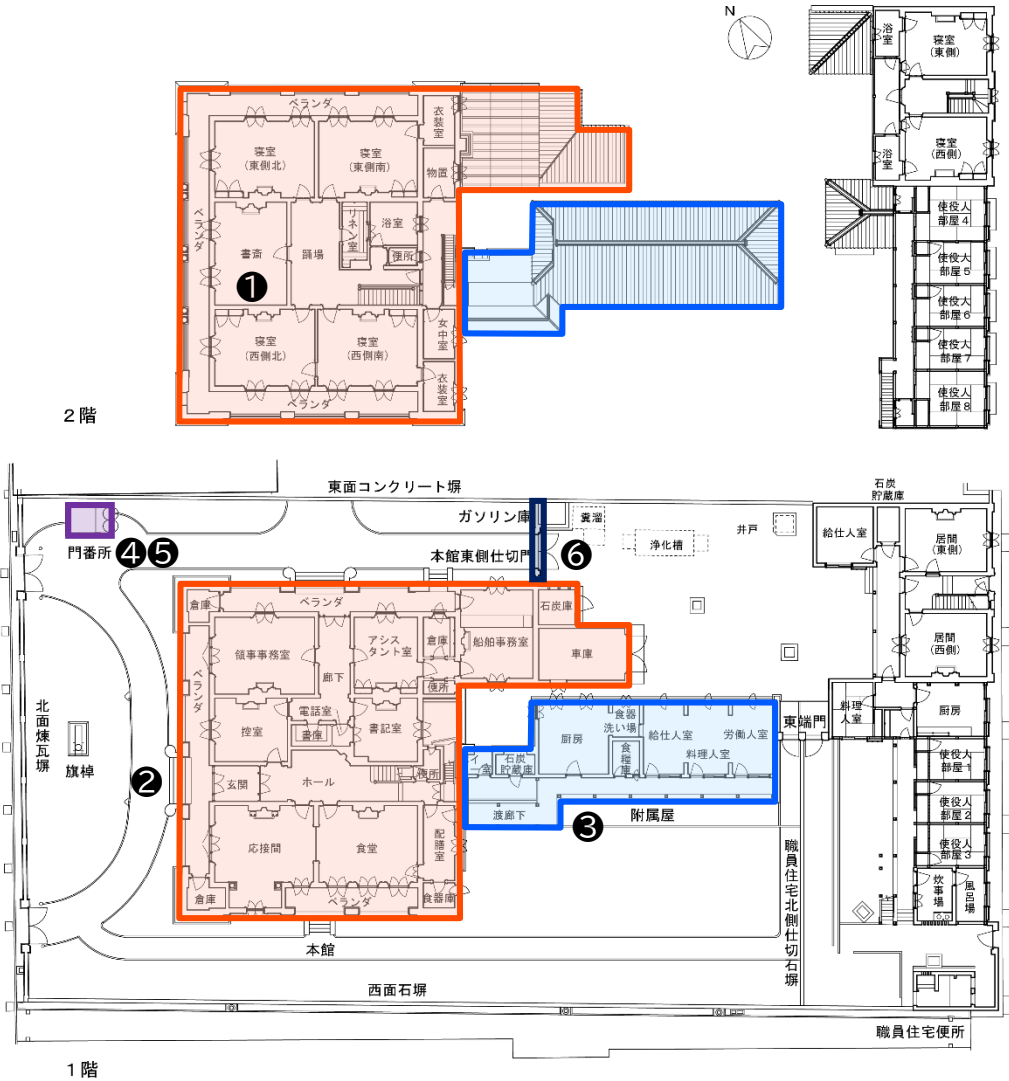
全景写真(オランダ通り側)





# 国指定重要文化財 旧長崎英国領事館保存整備事業の進捗状況報告

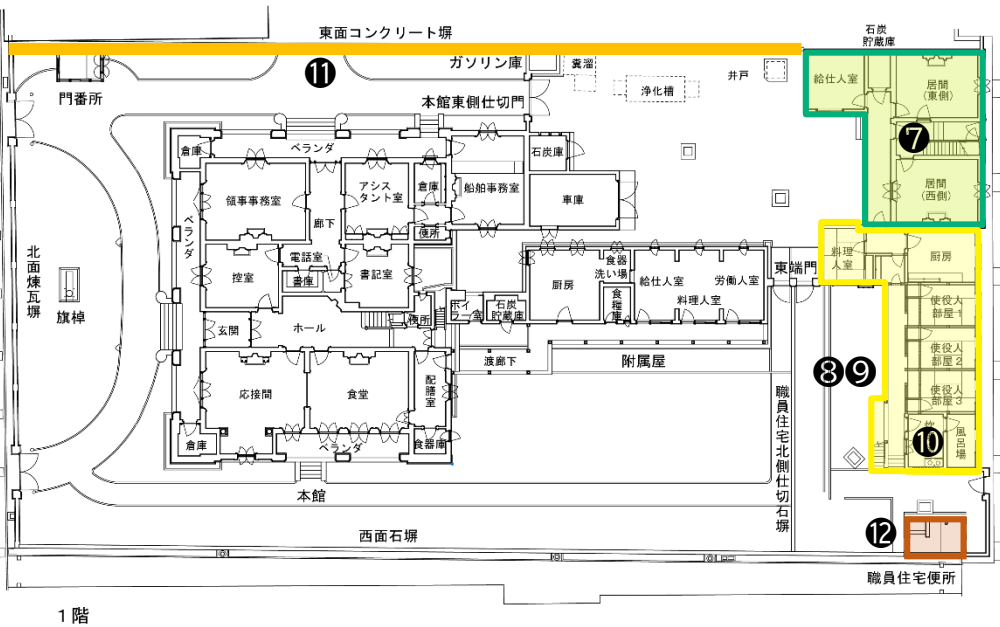
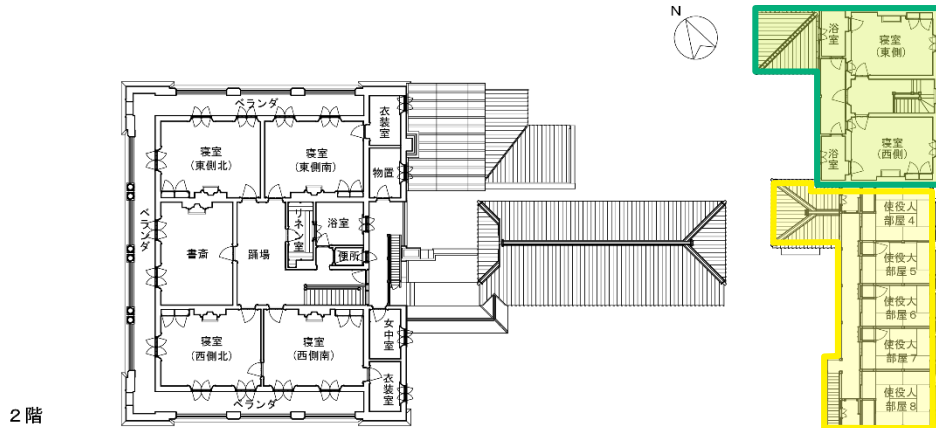
## 【6. 令和5年度「本館」「附属屋」「門番所」「東側仕切門」の主な工事内容】



<p><b>①「本館」天井蛇腹復旧</b></p> 	<p><b>②「本館」北側階段石復旧</b></p> 
<p><b>③「附属屋」渡り廊下復旧</b></p> 	<p><b>④「門番所」壁中塗り復旧</b></p> 
<p><b>⑤「門番所」屋根瓦葺き</b></p> 	<p><b>⑥「東側仕切門」門躯体復旧</b></p> 

# 国指定重要文化財 旧長崎英国領事館保存整備事業の進捗状況報告

## 【7. 令和5年度「職員住宅煉瓦棟」「職員住宅木造棟」「東面コンクリート塀」「職員住宅便所」の主な工事内容】



⑦「職員住宅煉瓦棟」  
壁塗装復旧



⑧「職員住宅木造棟」  
素屋根設置



⑨「職員住宅木造棟」  
軸部建て方



⑩「職員住宅木造棟」  
鉄骨補強



⑪「東面コンクリート塀」  
躯体復旧



⑫「職員住宅便所」  
補強基礎



# 国指定重要文化財 旧長崎英国領事館保存整備事業の進捗状況報告

## 【8. 文化財概要(国指定重要文化財)】

名称及び員数 : 旧長崎英国領事館 三棟(本館、附属屋、職員住宅)  
 指定年月日 : 平成2年3月19日  
 所在地 : 長崎市大浦町1番37号  
 建設年 : 明治41(1908)年  
 概要 : 英国技師ウィリアム・コーワンの設計に基づき、前半を後藤友三郎ごとうともさぶろう、後半を森高市太夫もりたかいちだゆうが施工し、明治41年に竣工した。本館・附属屋・職員住宅をはじめ、敷地全体にわたって往時の姿を保っている。明治後半期の洋風建築として、造形・意匠の面からも、歴史的並びに景観上貴重で、近代日本外交史の一端を示す資料としても価値が高い。

## 【9. 沿革】

元号	年代	記事
明治	41年	旧長崎英国領事館現在地に竣工
昭和	17年頃	英国領事館閉鎖
	30年	長崎市買収
	32年	長崎市立児童科学館設置
平成	元年3月31日	長崎県有形文化財指定
	元年度～2年度	職員住宅保存修理工事実施
	2年3月19日	国重要文化財に指定(県指定有形文化財解除)
	3年度～4年度	美術館として活用するため保存整備工事実施
	5年4月	長崎市野口彌太郎記念美術館として開館
	19年3月	長崎市野口彌太郎記念美術館を移転し閉館
	23～24年度	保存修理事業(建造物の破損調査及び構造補強方針策定)
	27～30年度	保存修理第1期工事実施
	30年度(3月)	保存修理第2期工事に着手
令和	元年度(9月)	保存活用計画作成に着手
	3年3月	保存活用計画策定